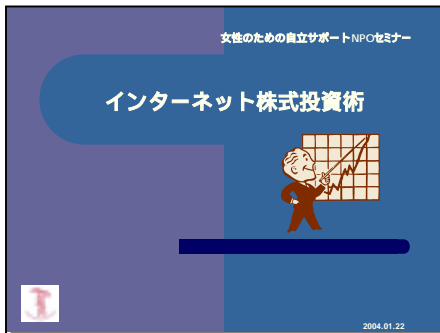


インターネット株式投資術 入門コース

はじめに



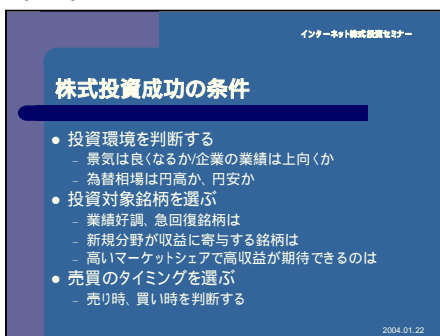
2003年の東京証券取引所での年間株式売買高が、バブル期の1988年の数字を上回る過去最高を記録しました。その背景には、外人投資家の積極的な売買とやらんで個人投資家がインターネットを利用して頻りに株式を売買したことがあるといわれています。

日本でインターネットを利用した証券投資がスタートしたのが1994年、取引口座が100万口座を超えたのが2000年ですから、インターネット株式取引は今ようやく発展期から定着期を迎えたといえます。

株式投資の経験はあるけれどインターネットを使ったことがない人、インターネットはよく利用するけれど株式投資はしたことがない、けれども関心のある人、そんなあなたのための講座です。

1. 株式投資を始める前に知っておくこと

(1) 株式投資成功の条件



「人に勧められて株を買ったけれど、大幅に値下がりした」というような後悔のないように、まず、株式投資を始める前に自分で勉強して、納得してからはじめてください。

勉強するのは、次のような点です。大まかでいいですから自分なりにチェックして、わからない点があれば経験者や専門書を参考にしてください。これが株式

投資を成功させるための条件ですから。

➤ 現在は株式を投資する環境だろうか？

これから景気は上向くか、下向くか
円・ドル為替相場は円高か、円安か

➤ 有望な銘柄を選ぶ際の注目点は？

利益成長がまだまだ続くか、そろそろ足踏みか

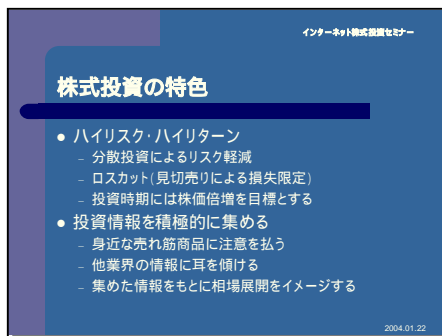
新製品が寄与して業績が急回復するか、強力なライバルが出現して業績が急降下しないか

➤ 今は株式投資するのに買う場面か、売る場面か？

相場全般が上昇基調にあるか、人気離散の下げ相場にあるか

(2) 株式投資の特色

「株式投資は良くわからないし、損した話をよく聞くので手を出さないほうが良いと思



う」とよく聞きます。株式投資はほかの貯蓄手段をどう違うのか、それを理解しておけば株式投資が決して危険な蓄財手段でない事が分かります。

➤ ハイリスク・ハイリターン

分散投資によってリスクを回避できます（「卵を一つの籠に盛るな」「財産の三分法」）

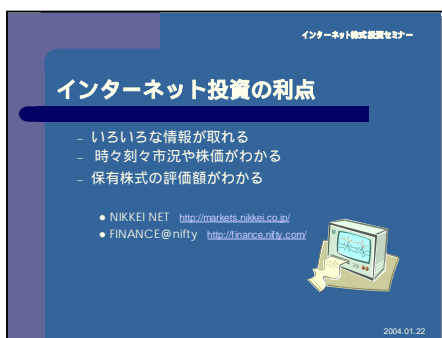
➤ ロスカット・ルールを守る

見切売りによって損失を限定する（買値から20%下げたら失敗を認めて売却）

➤ 投資時には株価倍増銘柄を選ぶ

ハイリターンが株式投資の魅力、どんな投資環境でも成功する銘柄はある

2. インターネット投資の利点



インターネット取引のはじめは、「手数料が安い」がうたい文句でした。確かに投資家にとって、今まで証券会社に電話で注文を出していたときの固定手数料に比べて大幅に安くなり、取引コストが下がるのはそれだけ利益が得やすくなりました。しかし、それ以上に、いろいろなサービスが利用できるのがインターネット投資の利点なのです。

➤ いろいろな情報が取れる（NIKKEI NET - 日本経済新聞 - の“マネー＆マーケット”の例）<http://markets.nikkei.co.jp/>

ニュース（ホットニュース、国内株ニュース、注目株の動き、企業業績・財務、企業）

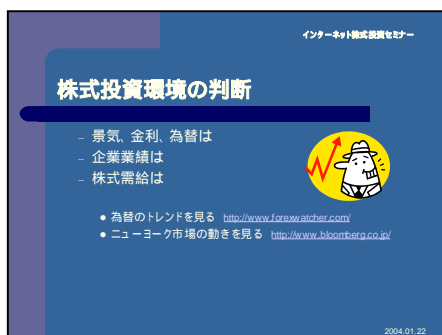
➤ 時々刻々市況や株価がわかる

平均株価、個別銘柄の時価（日経平均株価、チャート、円ドル相場、株価サーチ）

➤ 保有株式の評価額がわかる（“マネー＆マーケット”持ち株チェックの例）

20銘柄まで登録可能、持ち株の管理・候補銘柄のシミュレーションができる

3. 株式投資環境の判断



投資環境の判断が株式投資成功の条件だといいました。株価が高くなった時に買わないこと、安くなった時に売らないこと、人気が離散して動きが止まったときは投資には向かないこと。つまり、売り、買い、休む、時を見極めるためにいろいろな情報をインターネットで確かめることができます。

➤ 景気、金利、為替は

景気が上向きか、下向きかをグラフで（内閣府統計、

<http://www.cao.go.jp/>）見る、円ドル為替相場の推移（FOREX WATCHER

<http://www.forexwatcher.com/>)を見る

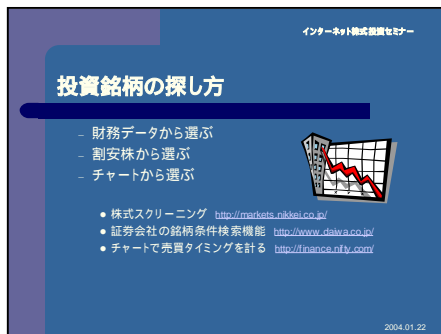
➤ 企業業績は

法人企業統計（財務省、財務総合政策研究所 <http://www.mof.go.jp/>）を見る

➤ 株式需給は

投資家別株式売買状況（東京証券取引所、統計資料 <http://www.tse.or.jp/>）を見る

4. 投資銘柄の探し方



インターネットを利用して株式投資を始めようと資金を用意し、取引口座も開設しました。でも、どうやって買う銘柄を選んだらいいか迷ってしまいますね。投資経験の豊富な人に相談するか、株式関係の雑誌を頼りにするのが一般的です。

いくつかの候補銘柄をあげたら、自分なりにふるいに掛けて銘柄を決め、買うタイミングを決めます。

➤ 財務データから選ぶ

収益性（1株あたり利益）、成長性（経常利益増益率）、安定性（1株当たり純資産）などを条件検索（スクリーニング）する（“マネー&マーケット”の例）

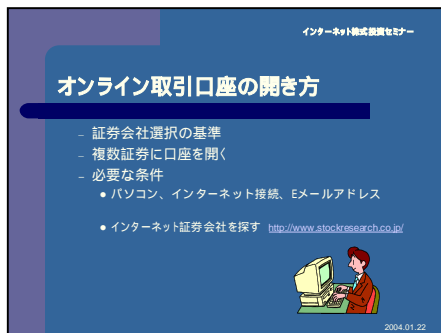
➤ 割安株から選ぶ

株価収益率（PER）の低いもの、株価純資産倍率（PBR）の低いものを条件検索する

➤ チャートから選ぶ

スーパーチャートなど詳細な株価グラフの移動平均線等の分析をする

5. オンライン取引口座の開き方



新たにインターネットで株式投資を始めようとするとき、どのような基準で証券会社を選んだらいいのかが迷ってしまいますね。売買にかかる取引手数料の安い証券会社、情報サービスが充実している証券会社、代金決済の便利な証券会社、など投資のスタイルや売買頻度によって基準は違ってきます。

証券会社の手数料やサービス内容を比較して検討

します。（Stock Research <http://www.stockresearch.co.jp>）

証券会社選択基準

株式投資経験者は手数料基準、信用取引、注文形式などを重視

初心者は情報サービス、使い勝手のよさなどを重視（バナー広告などで無料体験を見る）
複数の証券会社に口座を開設する

口座開設に費用がかからない証券会社に複数口座を開き、比較する

口座開設に必要な条件

パソコン（証券会社によってOSに制限があるので事前にチェック）、インターネット接続、Eメールアドレス取得

以上